

校長室の窓から 269

080707 食を通して気付く季節の年中行事

今日7月7日は、七夕です。快晴の天気なので、今晩は天の川がよく見えるかもしれません。

昔は家庭や地域でよく笹を飾り、子供たちが短冊に願い事を書いて、七夕の行事を楽しむことが多かったのですが、季節の年中行事を意識する機会が年々減っていて、さみしいなと思うことがあります。



娯楽が多様化していることや、そもそも季節感よりも日々の忙しさが優先されるようになってきていることが、原因なのかもしれません。

昨日の給食は「七夕献立」でした。季節感たっぷりで、給食を見るなり、改めて「そっか明日は七夕なんだな・・・」と気付かされました。並んでいたメニューは

- ・うめごはん
- ・おほしさまコロッケ
- ・そうめんじる
- ・こまつなのおひたし
- ・たなばたゼリー



です。**梅の入った混ぜご飯**は、さっぱりしていて夏にぴったりです。そして**星の形をしたコロッケ**に、**天の川のようなそうめん**。かやくには**星★の形のかまぼこ**や、**短冊の形の油揚げ**が入っていました。そして、極めつけが、**たなばたゼリー**。

この献立を考えられた**栄養職員さんは天才**だと思います！

このような行事食によって伝統的な食文化を体験したり、季節感を感じたりできることは非常に重要です。今後はこの他にも「十五夜献立」「ハロウィン献立」「冬至献立」「節分献立」「ひな祭り献立」等、さまざまな行事献立が計画されているそうです。どんな給食なのか楽しみです。

給食は、ただ食べるだけでなく、心を豊かにするための大切な教材ですね。

愛と信の仲よしこよし

中太閤山小学校長 堀 かおり